

ふくしま農業女子ネットワーク 農女ぴより



▼1▲
ネットワークの
ロゴマーク

県内の「農業女子」が、日々農業を通じて感じる思いやエピソードなどをコラムにつづります。ふくしま農業女子ネットワークのメンバーが毎回交代で、毎月第1、3週号に連載します。



食べる人の笑顔を思いながら野菜づくりに励む百目鬼さん夫婦と5歳の娘

どうめ きあやこ
百目鬼綾子さん(郡山市)

「生きている」充実感

4年前、農業をしたいと言う夫と共に、約20年過ごした東京から私の故郷郡山市へ戻ってきました。

当時は子供が生まれたばかり。農業をやってみたいと夫から聞いたときは、「何をばかな…」と思いましたが、一方で、仕事で毎日深夜に帰宅する夫の姿を見ていたので、この生活がいつまで続くのかという不安もありました。夫婦で何度も話し合い、移住することに決めました。

県などが催す研修を受け、同時に農地探しに奔走。市内に約1000平方分の畑地を借り、平成25年の春

に野菜の種まきから始めました。販路開拓など大変なことばかりでしたが、家族との距離が近くなり、東京にいた頃のように母子だけの孤独や不安を感じることはなくなりました。夫も組織に縛られず、やりたかったことをやれる毎日が楽しいようです。

最初は農業に全く興味がなかった私。でも自分が育てた野菜を喜んでくれるお客さまや家族、たぐさんの笑顔に囲まれ、「農業って楽しい!」と心底思えるようになっていきます。東京生活では感じるこのよきな

った「生きている」という充実感を感じています。

夫婦で農業をするようになって、家族一緒の時間と笑顔が増えました。今年もたぐさんの笑顔に出会えるよう、おいしい野菜づくりに励みます!

【プロフィール】ハウスや露地で御前人参やあこや姫(方)といった郡山ブランド野菜など、約30種類を栽培。青じそやトマトを使ったジュースやドレッシングなどの加工品も手掛ける。夫、娘と3人暮らし。あぶくま商會取締役。

ふくしま農業女子ネットワーク (愛称: 百笑一姫♡Fukuがある)

農業女子同士の交流・連携を深め、スキルアップを図ろうと、県内

の女性就農者や就農希望者41人で構成。福島民報社をはじめ、県内の21企業・団体が「応援団」として登録している。農産品を使った加工品の共同開発や情報発信、経営力向上、販

路拡大などに連携して取り組む。ネットワークのメンバー、応援団となる企業・団体を随時募集している。問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。